

西景広審発第4号  
令和5年7月6日  
(2023年)

西宮市長 石井 登志郎 様

西宮市都市景観・屋外広告物審議会  
景観アドバイザー一部会  
部会長 川崎 雅史

令和5年度第2回景観アドバイザー一部会の議題について【答申】

令和5年6月8日付西都デ発第10号にて諮問されました標記の件について、  
別紙のとおり答申します。

## 議題 JR 西宮駅南西地区第一種市街地再開発事業（設計段階協議）

## 【色彩計画について】

- (1) バルコニー鼻先の色彩について、N9.5は超高明度であり、その他の建材や配色に対し、かなり対比が強いことが懸念される。また塗装であれば、明度8.5程度でも十分に白く見えるため、過剰に白くする必要はないと考える。N3.0の箇所も含め、全体の塗装色およびガラスの色調を考慮し、YR系の色相に合わせた方が全体の色彩調和が明確になり、まとまりのある印象となるため、バルコニー鼻先はそれぞれ10YR 8.0/0.5程度、10YR 3.0/0.5程度を推奨する。
- (2) 縦スリットについて、二次外壁とのコントラストを考慮しつつ、バルコニー鼻先と合わせて全体のバランスを図りながら色彩選定とその使用範囲を決めてほしい。

## 【ガラス手摺について】

- (3) 当該建築物は周囲の中でも一番高い建物となり、色々な場所から視認されるため、低層部はまちなみに馴染ませつつ、高層部は空に馴染むようにトリュフブラウンの範囲を北側の機械式駐車場の高さまで下げて軽やかな印象としてほしい。また、低層階トリュフブラウン→中層階ダスクブラウン→上層階透明または乳半のように、3層構造として中・高層部をより軽やかに見せることも検討してほしい。
- (4) 反射率が高いと西日などの反射による光害や、野鳥が映り込んだ風景と分からずにガラスに衝突するバードストライクといった鳥害につながる可能性が懸念される。反射率が低く、映り込みの少ないガラス手すりの色（乳半や透明）を検討してほしい。

以上